

2 / 28

## 住民向けドローン配送試験を実施

2月3日(金)に「ドローンデポ境町」をオープンした、株式会社NEXT DELIVERYがドローンを使った配送実験を行いました。実験では地上配送とドローン配送を組み合わせ、金岡の着陸ポイントまでラーメンとお弁当を配達し、町民の稲垣征利さんがドローンから荷物を受け取り、試食をしました。稲垣さんは「思ったよりも早く届いて驚いた。ラーメンが店で食べるのと同じように熱くて美味しかった。」と話しました。



ドローンからラーメンを受け取る稲垣さん

3 / 4

## 土器作家の松山賢さんによる土器・はにわづくり講座を開催

3月4日(土)~26日(日)に、S-Gallery(東楽美術館)で開催された「松山賢展」の一環として、土器作家の松山さんが講師となり、土器・はにわづくり講座が行われました。参加者の皆さんは、松山さんの指導のもと、土器やはにわづくりを楽しみました。



土器・はにわづくりを楽しむ皆さん



土器作家の松山賢さん

境町アートプロジェクト

### Voice

家族みんなで楽しんで作品づくりをすることができました。特に模様や装飾の部分がとても楽しくて、時間が過ぎるのがあっという間でした。



境町 小池さんファミリー

世界に1つだけの自分のはにわを作ることが出来た良い経験になりました。(長) 土偶やはにわづくりは初体験でしたがとても楽しかったです。(青)



境町 長谷川朋香さん(左) 青木梨乃さん(右)

2 / 9

## (仮称)境町アーバンスポーツパーク 2nd と (仮称) S-デポの起工式が行われました

東京2020五輪の会場のBMXフリースタイル専用パーク「有明アーバンスポーツパーク」が境町に移設されることになり、起工式が行われました。境町で2つ目となる「(仮称)境町アーバンスポーツパーク 2nd」は、屋根と照明を整備した全天候型の施設で、世界大会の開催も可能です。同エリアには、ショップやトレーニングルーム等を設けた施設「(仮称) S-デポ」も整備されます。



(仮称)境町アーバンスポーツパーク 2nd 完成予想図

2 / 23

## 画家の遠藤彰子さんによるギャラリートークを開催

1月5日(木)~2月26日(日)に、S-Gallery(東楽美術館)で開催された「世界の子どもたちの絵画展・遠藤彰子展」の一環として、画家の遠藤彰子さんご本人によるギャラリートークが行われました。遠藤さんは幼少期から現在までの経験や絵画への熱い思いなどを話されました。



画家の遠藤彰子さん



展示された作品



ギャラリートークの様子

境町アートプロジェクト

### Voice

ご本人からはとても柔らかな印象を受ける遠藤先生が、あんなに大きな世界を描き上げているのかと不思議な気持ちになりました。柔らかな雰囲気の中にマグマのような熱い気持ちを持った方だと感じました。

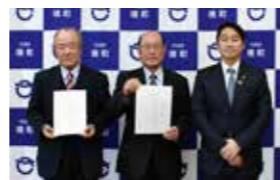


横浜市 加藤 佳代さん

12 / 1

## 境町民生委員・児童委員が改選されました

境町民生委員・児童委員が改選され、48名の方が地域住民の福祉向上のために、民生委員法に基づき厚生労働大臣から委嘱されました。民生委員・児童委員の皆さんは、生活上の困りごとや各種福祉サービスなどのさまざまな問題について、秘密を厳守し、相談に応じたり助言を行うとともに、地域に密着した福祉の担い手として、社会奉仕の精神をもって活動していきます。任期は令和4年12月1日から令和7年11月30日までの3年間です。



宇都木利之副会長(左) 猪瀬晴男会長(中)

担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名
本船町・中仲町・上仲町	相良 実	猿山	関 稔	伏木中部	田村みち子
上町	須藤 厚	蛇池	岩崎 進	伏木南部	染谷君子
住吉町西側	川島弘子	下砂井・栗山	北島 裕	一ノ谷	野口秀子
住吉町東側	塚原のり子	西泉田	猪瀬晴男	百戸	倉持和弘
宮本町	宇都木利之	上小橋	田中 功	桐ヶ作・新田戸	上原和宏
坂花町	田中和子	浦向	川崎豊太郎	若林蓮台	染谷一也
新吉町	鹿久保ひで子	金岡	稲垣 稔	若林新田	須長たかよ
山神町一区	染谷久美子	下小橋	富張 博	若林本田	倉持義盛
山神町二区	長津孝子	染谷	高嶋 節	塚崎一区	柿沼春男
旭町南側	中村 仁	大歩・中大歩	中岡芳光	塚崎二区	福島由美
旭町北側	光山英氣	内門本田	渡辺利夫	稲尾	松田由美子
松岡町南側	西嶋千津子	内門新田	渡辺幸夫	志鳥	金久保悦雄
松岡町北側	丸山ゆき江	井草	宮田弘喜	横塚	島野富士夫
陽光台	古谷良子	喜五郎・七軒	増田健司	主任児童委員	齋藤美沙子
長井戸北側	相良荘一	山崎	野村 守	主任児童委員	倉持 貢
長井戸南側	野村進一	伏木北部	染谷武史	主任児童委員	鈴木和子

(敬称略)

1 / 17

## ヴァイノ・レイナルト 駐日エストニア大使が来町

駐日エストニア共和国ヴァイノ・レイナルト特命全権大使が境町役場を訪れました。自動運転バスの定常運行をきっかけに、エストニアの自動運転車の設計・製造を行う企業オーブテック社のターヴィ会長とヨハネス CEO が境町を訪れ、レイナルト大使をご紹介いただいたことで今回の訪問が実現しました。レイナルト大使は役場で橋本町長らとデジタル社会に向けた取り組みなどについて意見交換を行いました。



レイナルト大使(写真中央)

1 / 26

## Forbes JAPAN SMALL GIANTS と連携協定締結式

境町は「Forbes JAPAN SMALL GIANTS」の運営会社リンクタイズ株式会社と双方の専門的な知識・経験等の有効活用、情報発信力等の向上を図ることを目的に連携協定を締結しました。今後「Forbes JAPAN SMALL GIANTS」を通じて、町内企業の魅力発信や子どもたちへ教育コンテンツの提供などを実施します。



Forbes JAPAN SMALL GIANTS 藤吉編集長(左)と橋本町長

2 / 3

## (仮称)境町ドローンラボ・ドローンフィールド起工式が行われました

塚崎の境特別支援学校隣接エリアに整備されるドローン専用試験場「(仮称)境町ドローンラボ・ドローンフィールド」の起工式が行われました。境町では「買い物難民」などの手助けとしてドローンを活用した物流の導入を進めており、「新スマート物流」の実用化に向けて、ドローンを活用するデジタル人材の育成や、ドローン配送の実証実験などを行い、境町から全国に先駆けドローン配送の実用化を目指します。



起工式の様子

2 / 3

## ドローンデポ境町の開所式が行われました

境町「S-startup」(住吉町)に、ドローン配送と陸上輸送を融合した新スマート物流「SkyHub®」の拠点となる「ドローンデポ境町」がオープンし、2月3日(金)に開所式が行われました。今後は、買物代行のサービスなど、ドローンや自動運転バスを組み合わせた新しい物流システムを構築し、ニーズに応じて商品ラインナップを充実・深化させつつ、順次サービスを提供していく予定です。



開所式の様子

R4 11 / 12

## 夢見るホッケー教室！開催

境町ホッケーフィールドで、町内の小・中学生を対象に無料のホッケー体験教室「夢見るホッケー教室」が開催されました。東京2020五輪でホッケー男子日本代表「サムライジャパン」の山崎晃嗣選手や、元ホッケー女子日本代表「さくらジャパン」して活躍した藤尾香織選手らが講師をつとめ、参加した子どもたちがホッケー競技の楽しさを体験しました。



教室参加者での集合写真

R4 11 / 18

## スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰で境町が2年連続受賞！

海のない境町でサーフィンを体験できる人工サーフィン場「S-wave」の取り組みが評価され、スポーツ庁の「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2022」で境町が表彰されました。東京大手町で開催された表彰式では、スポーツ庁室伏長官より橋本町長へ表彰状が手渡され、昨年に続き2年連続の受賞となりました。



室伏スポーツ庁長官(左)と橋本町長

R4 12 / 6

## コビープリスクールさかいで境警察署と協力し防犯訓練を実施！

コビープリスクールさかいと境警察署が協力し、境地区の保育園では初となる不審者に対する防犯訓練を実施しました。訓練では、境警察署の警察官の指導のもと、実際に武器をもった不審者に遭遇した場合を想定し、道具を使った不審者の取り押さえ方など、実践的な対処方法を学びました。



訓練の中で指導を受ける様子

1 / 12

## 境町でまちづくりシンポジウムを開催

茨城県が毎年開催する「まちづくりシンポジウム」が境町中央公民館で開催され、県内外から約340人が境町を訪れました。シンポジウムでは橋本町長が登壇し、境町のまちづくりを紹介すると、来場者からは、境町が「住み続けられるまちづくり」に意欲的に取り組んでいる様子が参考になる、などの声が聞かれました。



約340人がシンポジウムに参加

パネリストとして橋本町長が登壇